

日本大学生物資源科学部博物館研究報告「生物資源科学」投稿規定

本誌の研究報告は、日本大学生物資源科学部(以下、本学部)博物館を中心に、本学部で行われた研究を対象として掲載し、年1回の発行とします。

原稿の種類と内容：投稿原稿の内容については、原著論文、総説、報告(研究条件・技術の検討、各種資料や記録の公表など)とします。なお、企画寄稿連載は編集委員会からの依頼によるものであるため、一般の投稿は受け付けておりません。

投稿資格：投稿は本学部教職員(非常勤とかつて在職した者を含む)ならびに大学院生・学部生(かつて在籍した者を含む)に限りませんが、共著者に本学部以外の方を含むことができます(第1著者も可)。

受付：原稿は随時受け付けています。基本的に校了順に掲載予定ですが、本誌の予定ページ数を超過した場合、掲載を次号へ延期する場合があります。

査読：適切な査読を行った上で編集委員会が掲載の可否を判断します。その際、外部の専門家の方に査読をお願いする場合もあります。投稿原稿に不十分な点が認められた場合、編集委員会は著者に修正を求めます。修正を求めた原稿が3ヶ月以内に再提出されなかった場合は、原則として受付を取り消します。最終的に編集委員会が掲載可と認めた日を受理日とします。

使用言語：使用言語は日本語とします。ただし、英文Abstractを付けることは可能です。その際には、著者の責任で必ずネイティブチェックを受けてください。

原稿の投稿方法と書式：原稿は電子投稿に限りです。本投稿規定に則り、下記の形式で電子ファイルを作成し、電子メール(brs.museum@nihon-u.ac.jp)により編集委員長宛に送信してください。

- ・本文および図の説明：Microsoft Word(A4, 25行, 周囲余白30mm)
- ・図：PPT, AI, JPG, PDFの各種フォーマット
- ・表：Microsoft Excel, Microsoft Word

原稿の構成：原稿は、1ページ目に表題(および20文字以内の簡略表題)、著者名、所属を和文・英文両方で記述し、併せて原稿の種類、責任著者の電話番号とメールアドレスを記述してください。なお、責任著者については、著者名の右肩にアステリスクを付記してください。2ページ目以降に和文要旨、本文、謝辞、引用文献、図の説明の順に書いてください。和文要旨には和文キーワードを、5語を上限として付記してください。なお前述のとおり英文Abstractを付けることが可能ですが、その場合も5語を上限として英文Keywordsを付記してください。原稿には通しページ番号を付けてください。また、文字化けを避けるため、機種依存文字は使用しないでください。句読点については、「、。」ではなく「,。」にしてください。

学名：本文中で最初に用いた生物の和名には必ず学名を付け、イタリック体で表記してください。要旨およびAbstractにおいても最初の和名には学名を付けてください。なお、必要がなければ学名には命名者名と命名年号は付けなくても構いません。

文献の引用：本文中での文献の引用は、「佐藤・鈴木(2006)……」、「……(Spencer 1991a, b; Monica and Sanchez 2000; Cornel et al. 1988)」などとし、出版年の順に並べてください。著者が3名以上の場合、第2著者以下を「ほか」または「et al.」とします。

Online Firstといった電子論文で出版年が未定の場合は、「in press」あるいは「印刷中」と表記してください。Webサイトからの引用は原則として認めませんが、他に情報源がない場合、本文中に「～である(URL: <http://> ～; 20XX年X月X日版).」のようにURLと引用日付を明記してください(引用文献には記載しないでください)。

引用文献：引用文献のリストには、本文中で引用した文献のみを記載してください。著者名は省略せずに全て表記してください。記載順は著者名のアルファベット順とします。第1著者が同じ場合には、まず単独の著者名を西暦年順に置き、以降、第2著者名のアルファベット順であとに続けてください。すべて同一著者の場合は、西暦年順に置き、同一著者で同一年の場合は、西暦年のあとに小文字アルファベットを付けて区別します。著者が3名以上かつ第1著者が同じで同一年の場合も、西暦年のあとに小文字アルファベットを付けてください。引用文献の記載は下記に倣ってください。なお雑誌名・書籍名は省略しないでください。

【和文本】

ハリディ, D.・レスニック, R.・ウォーカー, J. 2002. 物理学の基礎(野崎光昭, 監訳). 培風館, 東京. 308 pp.

【和文本の章】

樋口広芳. 1984. 種分化と資源分割. 現代の鳥類学(森岡弘之・中村登流・樋口広芳, 編), pp. 216-236. 朝倉書店, 東京.

【和文原著論文】

瀬能 宏・松浦啓一・篠原現人. 2006. 相模灘産魚類目録および黒潮流域の沿岸性魚類の動物地理. 国立科学博物館専報 41: 389-542.

【英文本】

Pan, M.-H., Li, Y. and Sumner, M. E. 2012. Handbook of Soil Sciences. CRC Press, Boca Raton. 1392 pp.

【英文本の章】

Brown, B. and Aaron, M. 2001. The politics of nature. In (Smith, J., ed.) The Rise of Modern Genomics, 3rd ed., pp. 230-257. Wiley, New York.

【英文原著論文】

Cowen, L. E., Anderson, J. B. and Kohn, L. M. 2002. Evolution of drug resistance in *Candida albicans*. Annual Review of Microbiology 56: 139-165.

電子ジャーナルあるいはOnline Firstといった電子論文で、掲載ページが記載されていない論文を引用する場合は、掲載ページの代わりにDOIを記載してください。

表：表には順に番号を付け、本文とは別に、縦罫線を使わずに作成してください。表の説明は表の上に記述してください。

図：図(写真)には順に番号を付け、本文とは別に作成してください。カラー図(写真)の掲載が可能です。

校正：著者校正は初校のみとし、大幅な変更は認めません。再校以降は編集委員会が責任をもって行います。

別刷：実費は全額著者負担のうえ、50部単位で注文することができます。なお電子ファイル(PDF)は無償で差し上げます。

著作権：著作権は本学部に帰属します。図表の転載が必要な場合は、本学部の許諾が必要です。